

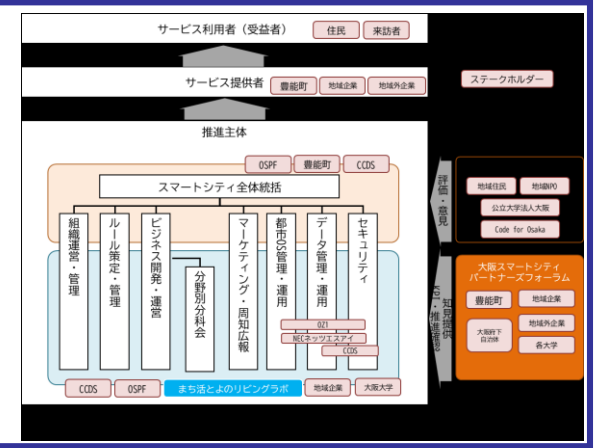
一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

■スマートシティの目標(KPIの設定)

- ・ 長期KPIとして、住民の減少抑制(令和10年で1.4万人規模に下がる予定を、1.5万人で食い止める)
- ・ 短期KPIとしては対象住民の利用アンケートにて満足度など(本年度のKPI)
- ・ 「豊能スマートシティアプリ」を対象地区において利用者3割を目指します
- ・ 子育て世代の住民満足度をアンケートで確認し5割の満足度を目指します
- ・ 高齢者における「買い物支援」「移動支援」サービスの利用率1割を目指します
- ・ 豊能ヘルスラボを設立し300人を対象に生活習慣改善者割合:50%以上、検査値改善者割合:50%以上を目指します
- ・ 町外住民が「おてつたび」を利用して、バイト(農業支援など)と宿泊を10人/年を目指します

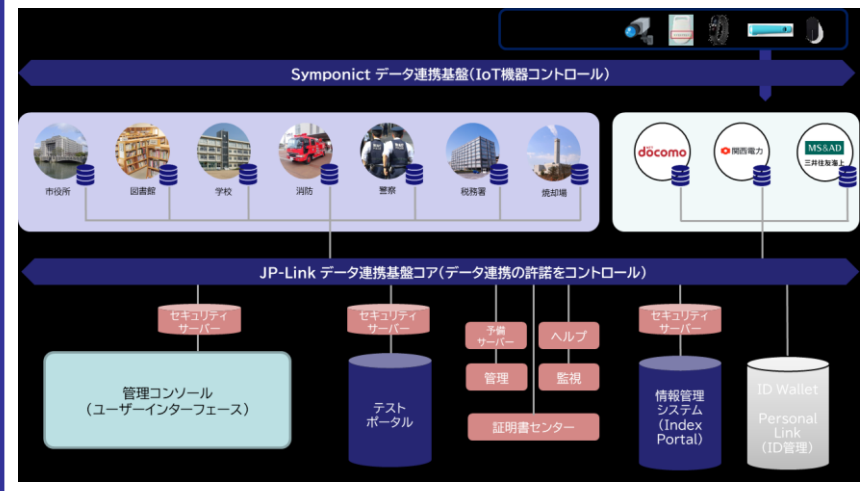
■運営体制

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会では、自治体・企業が参加し、欲しいサービス・提供したいサービスの情報が簡単に共有できるように行います。また、策定の難しいオペレーションや規約類もサンプルとして提供を行います。



■導入技術

・コンパクトスマートシティプラットフォームは、データ連携基盤(都市OS)、ID管理(個人情報管理)、地域スーパーアプリの3つと各サービスで構築されております。



X-Road型とNGSI型のハイブリッド構成

② ID管理



個人がIDや情報管理

③ 地域アプリ



最短1日で構成できる地域インターフェース

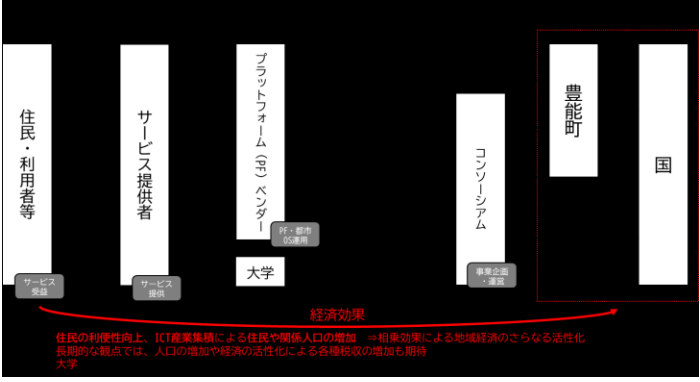
- ### ④ サービス
- 公民連携サービス
- 見守り
 - ヘルスケア
 - 子育て
 - 買い物支援
 - 観光・地域経済
 - 交通
 - カーボンニュートラル
 - デジタル行政
 - IT活用人材育成
 - 防災
- 60以上のサービスから
地元に合ったサービス
を提供

一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

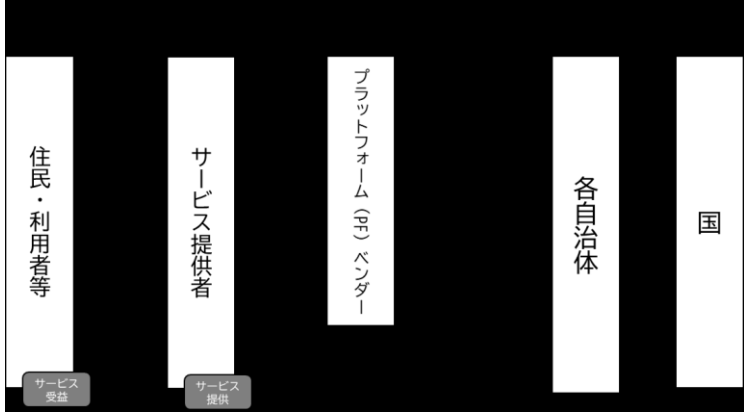
■ ビジネスモデル

ビジネスモデルは、基本住民間住民サービスは住民のサービス利用料を頂き、データ活用時API利用料金としてプラットフォームベンダーが回収します。回収した利用料金を今後展開自治体に収益の還元を行い、街のスマートシティ維持コストを確保できる仕組みを検証していきます。

① 地域協議会主導モデル (Step1)

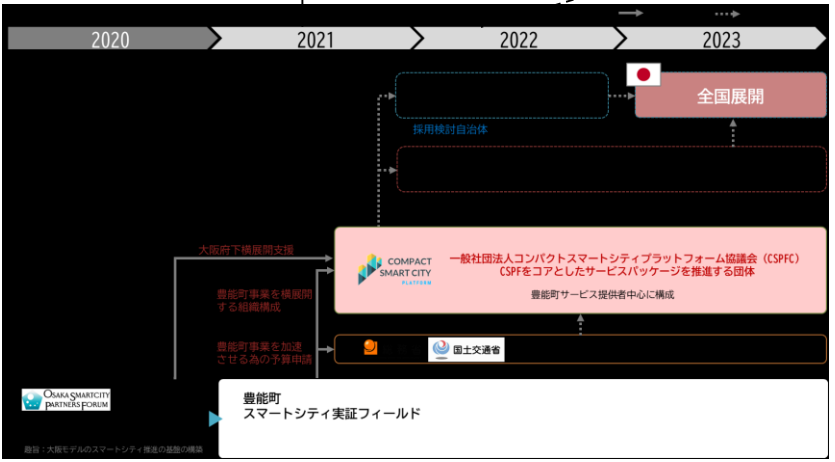
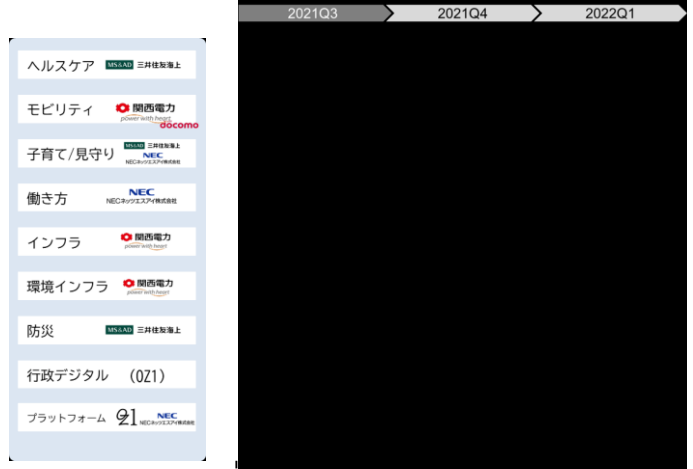


② 民間主導モデル (Step2)




■ スケジュール

各企業が提供するサービスを実装しながら、カテゴリ化されたサービスをUAX-Linkアプリで統合し住民が簡単にサービスにアクセスできる環境を整えながら、都市OSで各企業のサービスやデータを連携して行きます。




一般社団法人コンパクトスマートシティプラットフォーム協議会

コンパクトスマートシティプラットフォームは日本をスマートシティ先進国にし、地域活性化を支援します。



スマートシティ何からはじめたらいいの？
IT人材もない、予算もない、、、

コンパクトスマートシティプラットフォーム
そんな簡単なスマートシティパッケージが
あるのね！



循環するスマートシティサービスの輪

